

2017 沖縄シンポジウム

# 沖縄とともに

1945年6月23日を心に刻む

命 嘆 みる 戦  
ぞ くな る さ  
う な く 世 世  
宝 よ 臣 や ん  
下 が ち

戯曲「那覇四町昔氣質」より

2017年 6月 24日 土曜日 @ 弁護士会館

12:20 演 舞「エイサー踊り」都立調布南高校同窓会伝統芸能同好会 神和海 - みなみ - の皆さん (@1階エントランス)

13:00 第一部「対馬丸事件を語る」外間邦子氏 公益財団法人対馬丸記念会常務理事 (@2階講堂クレオBC)

14:30 第二部「辺野古の今」武田真一郎氏 成蹊大学法科大学院教授 (@2階講堂クレオBC)

予約不要・参加無料

どなたでも参加いただけます、お気軽にお越しください

第二次大戦における沖縄戦が組織的な戦いとして終了したのが  
 1945年（昭和20）年6月23日であり、毎年、沖縄ではこの日に慰霊の  
 行事が行われています。  
 日本の国土の中で唯一地上戦が行われた沖縄のことを忘れてはなりません。

12:20  
 演舞



**エイサー踊り**  
 都立調布南高校同窓会伝統芸能同好会  
**神和海** - みなみ - の皆さん

エイサー：  
 沖縄県でお盆の時期に、現世に戻ってくる祖先の霊を送迎するために踊られる伝統芸能。

13:00  
 シンポジウム  
 第一部



1944年8月22日、学童集団疎開の沖縄の子どもたちを乗せた対馬丸は米潜水艦の魚雷攻撃を受け、乗船していた学童784名を含む合計1482名が犠牲になりました。外間邦子さんから、沈没を巡る背景や彼らの残した「想い」「平和への強い希望」についてお話いただきます。

**外間 邦子** 公益財団法人対馬丸記念会常務理事

14:30  
 シンポジウム  
 第二部



6月24日時点での辺野古埋立阻止をめぐる最新のお話を、行政法を専攻しておられる武田真一郎教授をお招きして、お聞きします

**武田 真一郎** 成蹊大学法科大学院教授



「廃墟と化した首里城一带。中央が龍潭池、その右一带に沖縄師範学校があった」  
 「写真記録沖縄戦」（大田昌秀編著：高文研）

同時開催

**沖縄戦** 写真展 @弁護士会館 1階フロア

6/19（月）～6/24（土） 9:00～19:00（最終日11:00～16:00）

6月24日までの6日間、沖縄戦の写真展を開催いたします  
 入場無料



丸ノ内線「霞ヶ関」駅  
 B-1b 出口  
 千代田区霞が関 1-1-3

問い合わせ 人権課 03-3581-2205



沖縄県出身の画家で作家の山里永吉（1902年～1989年）が1982年（昭和57年）に書いた戯曲『那覇四町普気質』が原典とされ、同戯曲の幕切れに「いくさ世もしまみろく世もやがて 嘆くなよ臣下 命どう宝」という琉歌を詠む台詞がある。

戦の時代は終わった  
 やがて、平和で豊かな  
 時代がやって来るだろう。  
 嘆くな、臣下。  
 命こそ宝

戦させんしまち  
 みるく世ややがて  
 嘆くなよ臣下  
 命どう宝